

令和6年度 磐田市魅力産業支援会議 内容及び会議録

1 日 時 令和6年11月15日（金） 10時00分～12時00分

2 場 所 磐田市役所 西庁舎3階304・305会議室

3 出席者 磐田市魅力産業支援会議委員 8名
事務局（産業政策課）

4 内容

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議題① 磐田市経済産業振興プランのローリングについて

(4) 議題② 令和7年度磐田市企業実態調査項目について

(5) その他

(6) 閉会

5 意見等

議題① 磐田市経済産業振興プランのローリングについて

基本目標1：今を革新し、新たな価値を生む

市内産業の競争力強化と経営革新の促進

委員・KPIである市内総生産はだんだんと減少している状況である。コロナの影響もあると思うが、ここからどのようになると考えているのか。

事務局・コロナ明けで上向いていくとは思いますが、アメリカの政権交代、中国の景気後退、エネルギーや人件費等の高騰により、いったん回復した景気がまた厳しくなっている状況と捉えている。

事務局・産業振興フェアについてご意見があれば伺いたい。

委員・様々な交流が活発に行われ良かったと思う。他市他県からの企業も多く広がりを感じた。

委員・東京や大阪の展示会に出ると全然違う。浜松市や磐田市の展示会で勉強し東京

名古屋大阪にでていけるようにつなげていきたい。そのための支援も必要だと思う。

委員・地域の中で情報共有しながら広げていくことが大事だと感じる。産業振興フェアも YouTube 等で情報発信していけるとよい。

基本目標 2：新たなビジネスが価値を生む 新たな成長分野の展開と企業立地推進

委員・廃業した茶畑について、借りたい旨の話をしていたがなかなか進んでいない。スピード感を持って対応してほしい。
・レモンの振興について、前から進言しているようにランドマークが必要。またオーガニック化などもうひとひねりふたひねりしていかななくてはならない。

事務局・レモンに関して他の競合産地との差別化や、どう付加価値をつけていくかというところは課題だと認識している。委員の方々のご意見やアイデアをいただきながら取り組んでいきたい。

委員・今度新しくオープンするグリニティ磐田には、各部屋に磐田のお茶、和紅茶を置いている。また温度調整できるケトルも置く。お茶の生産量が少なくなっているなか少しでも貢献できれば。

委員・6次産業化を意識して取り組みを工夫していただければと思う。
基本目標 1 の市内総生産にも影響してくるのでいろいろアイデアをだしていただければ。

委員・新磐田インターの立地について、工業団地のためには良いが、一般の人からすると利用する理由が見当たらない。遠出するには新東名のほうが走りやすいが、わざわざ新磐田インターまでいくなら東名のほうがはやい。道の駅をつくるなど集客については考えていないのか。インターチェンジが二つあるのにもったいないと感じる。

委員・磐田市に道の駅はあるのか。また集客、発展に向けた考えは。

事務局・磐田市には道の駅は無いが同様の機能を持った施設はある。北部だと豊岡採れたて元気村があり浜北方面からのアクセスも良い。海のほうへ行くと渚の交流館や竜洋海洋公園などがある。またららぽーと磐田が大きな意味で道の駅と似たような効果を生んでいると思われる。新磐田インターについては観光誘客も視野に入れて取り組んでいく。北部には豊岡梅園があり、また天竜山間部への

アクセスの良さが魅力。本日のご意見を参考に、外から来る方に楽しんでいただけるような仕掛けをしていかなければならないと認識している。

基本目標3：新たなプレーヤーが価値を生む 創業促進とスタートアップ企業の育成

委員・浜松市のFUSEに参加しており、若手社員が試作品をつくるなどして活動している。失敗を繰り返しながら何年かかけて経験してもらえればと思い今年始めたところ。磐田市でも同じような場があれば良いと思う。

事務局・市としても様々な企業が交流できる機会をできるだけつくっていきたいと考えている。若いスタートアップや新しいチャレンジをしている小規模な事業者などが繋がる場の構築や、磐田市と似たような産業構造をしている町とのネットワークづくりを進めている。

委員・磐田市のインキュベーション施設とは具体的にどこか。

事務局・ワークピア磐田のなかにコワーキングスペースがあり、起業創業など何かこれから挑戦する方のご相談に対応できる場であるので、ぜひご活用をいただければ。

委員・起業したい人の平均年齢は。女性や若手への支援の話はあるが50代など第2の人生を考える人たちへのニーズの掘り起こしも検討すべきでは。

事務局・磐田市全体で令和5年度の起業相談件数は256件。男性が111人、女性63人で残りは不明。年齢は30～50歳代が多い。子育てが落ち着いた女性の相談が多い傾向にある。

基本目標4：人財が新たな価値を生む 人材確保の支援と人材活用の促進

委員・浜松市では高校生に企業の取材をして発表する企画があった。市をあげて学生に企業研究させるような取り組みがあれば良い。高校生インターンシップ制度があるところもあるがもっと進化させていく必要を感じる。

事務局・市内企業を高校生、小中学生にも知っていただいて最終的にはUターン就職等に繋げる取り組みを市でも進めている。高校生インターンシップ制度の創設や、交流授業として各高校の進路担当の先生と打ち合わせをして取り組んでいる。今年度も市内の高校4校で交流授業を実施し、グループワーク等を通して

市内企業の取組を肌で感じていただいた。また職業体験を通じこんな企業があるんだ、こんなことができるんだと認識してもらうことも重要だと思っている。

委員・ハローワークではジュニアインターンシップとして職業体験を進めており、企業に対応が可能かアンケートをしている。その情報をこれまでは高校へ送っていたが、磐田市からも情報提供の要望があったため、今年度実施する際は市への情報提供可否も合わせて確認し、可能な情報は市へも渡していきたいと考えている。また磐田の基幹産業である製造業の実際の状況を知らない方が多いので職場見学会も開催している。

委員・先日浜松の江之島高校から40名くらい見学に来てくれた。こんなことをやっているんだという子供たちの声が聞けたこと、またもう一回行きたいという話もあり嬉しかった。やはり知らないことが一番の問題だと思うので、回数を重ねていきたい。子供たちが地元の企業を見る機会をもっと検討してほしい。また高校生の就職の場合、決定権は親にある。親に向けてのアピールをもっと深掘していく必要があると感じる。

委員・高齢者雇用について、弊社では60歳以上の社員が約90名いる。うち75歳以上は約20名いる。車で通わせていいのかなということもあり、ワンボックスを用意して送迎している。障がい者雇用の方の足もなく、外国人の方も自転車を利用する姿が多い。朝晩のバスを出して安心して通勤できるような手段ができればありがたいのでご検討願いたい。

委員・製造業の方々にお話をきくとやはり人材不足が話題になる。そこで外国人の労働者を雇おうとするとアパートを借りてWi-Fiや家具家電を完備し、通勤用の自転車まで用意することもある。また特定技能の資格を取るために名古屋の学校まで通わせるところもあり相当の費用がかかる。そうしたところの補助を制度としてつくっていただけるといいなという意見をいただいている。

- ・商工会議所75周年という年を迎え、100周年に向けて磐田市をどういうまちにしていきたいかという長期的なプランを考えている。各団体が手を取り合って協力しながらやっていければと思う。

基本目標5：人が集い、新たな価値を生む 人を呼び込む観光・商業の振興

委員・バイクツーリズムについてはデイトナさんの協力を得て行われておりこれまで4回ほど開催している。出発地の福田漁港にもヤマハ発動機のコミュニケーションプラザにも300台ほど集まり大きなスケールになっている。かなりのフ

ファン層がおりヤマハ発動機のお膝元としてもいいイベントになっていると思う。また朝集まって海岸の掃除をしたり、朝カフェを企画したりと様々な付加価値が生まれておりこれからも発展を期待している。

- ・五郎丸さんと AKIRA さんがシーサイドゴルフ場を使って色々な試みをしていくといったところで磐田市の魅力もアップしていくことを期待。いい連携をしていきたい。
- ・デジタルデータを上手に使うって観光客の分析をし、いろいろな分野で活かして行ってほしい。

委員・プロスポーツ開催時の来場者への市の魅力発信とあるが具体的にどういったスポーツなのか。

事務局・Jリーグジュビロ磐田さんとラグビーブルーレヴズさん。ホーム戦でのブース出展などでPRをしている。

委員・女子サッカーのポニータもなでしこリーグで活躍している。ヤマハスタジアムでも試合をするので是非取り入れていただければ。

議題② 令和7年度磐田市企業実態調査項目について

委員・農業については6次産業化についてと捉えてよいのか。林業や水産業は。

事務局・前回調査ではいわゆる企業経営の形でやられているところ、農業経営法人が対象だった。次回調査では、林業は磐田市に対象企業がないが水産業関係はおられるので、そこも調査対象に含めるか検討させていただきたい。

委員・他の社長たちが直面している問題や悩みを知らずにいることが多く、同じような立場にいる人々が集まる場が必要だと感じる。問題解決のために専門家の意見を聞いたり、各社の状況を知ることが重要で、こうした交流が新しいアイデアや解決策を生むことを期待したい。

その他全体を通しての意見

委員・農業関係でも外国人材を使っていきたいという動きがある。ただ居住のためにアパートを農業地帯で建てるとなると難しい。特区のようなものをつくって人を集め支援していくようなことができればありがたい。

事務局・市としてどこまで支援ができるか色々と検討していきたい。

空き家の問題や市営住宅等々もあるのでそういったところと連携して何ができるか、各部署と話をしながら検討していきたい。

事務局・今年度末で委員の皆様の任期が満了になり、一旦改選になる。次期の2年は先ほどの企業実態調査や次の経済産業振興プランの策定を予定する任期になる。今の委員は全員男性である点や、外国人材、起業創業に係るお話があったことを踏まえ、次期の改選に際しこういった視点を入れたらいいんじゃないか、こういった方が入ってきたら面白いのではないかという、ご意見やアイデアがあれば賜りたい。

委員・磐田市としてメインでやりたいものが何なのか。全部やろうとして結局ばらばらになるより何が何でもやりたいもの、絶対成し遂げたいところがあるならそのためのメンバーを要請すればいい。何がしたいかによって変わる。幅広くやりたいなら年齢も業種も幅広く揃えればいい。

委員・外国人の労働人口は今後も増えていくのでそういった方々も視野に入れる。DXや脱炭素が重要になっていくようであればそこを重点的に取り組んでいる中小企業の社長など。女性についてはコワーキングスペースで始まりのオフィスをやっている方も候補だと思います。

委員・今度息子が帰ってくるが、都内で広告代理店をしており全然違う情報をもっている。魅力産業とはどういう意味か、磐田市はどういう印象かというところも、はたから見たイメージはまた違うところもあると思うので、そういった若い人、視点の全然違う人もとり入れたら面白いと思う。

最後に

事務局・皆様のニーズや課題を把握し、また国や県の動向も注視しながら、新たにチャレンジする事業者の皆様の後押しをできるような支援に、積極的に取り組んでいきたいと考えております。